

上野の里ふれあい市

8月27日～31日



接客業なので、大きなあいさつや笑顔で人と接するように心がけました。初日は、緊張やはずかしさで大きな声を出すことができず、お客さんとも話すことができませんでしたが、日数と経験を重ねることで、接客の姿勢を学ぶことができました。



赤池中2年 戸田 涼太 くん

↑ 米の精米やソフトクリームの販売など、正確に作業を実施。

花曜日

8月27日～31日

花の手入れや立ち仕事など、見た目の華やかさとは違い、大変な仕事だったけど、店のかたから優しく指導していただいたので、自分に与えられた仕事を楽しみながらすることができました。特に、フラワーアレンジメントが楽しかったです。



赤池中2年 井上 玲菜 さん



↑ 試行錯誤を重ねてアレンジした、世界に一つしかない花束。

役場 広報・広聴係

8月2日・3日



広報係の仕事は、カメラを撮るのが難しく、ボケたりするのが多くて、大変でした。また、取材をしながら、メモをとるのにも苦労しました。この体験を通して、私たちがいつも見ている広報紙を作っている人の苦労や大変さが分かりました。



方城中2年 二場 なるみ さん

↑ 記事を編集する二場さん。現場の状況を詳細にまとめました。

役場 広報・広聴係

8月2日・3日

取材で写真を撮らせていただくとき、ただ撮るだけでなく、どういう位置や角度で写真を撮るかで全然印象が変わることが分かりました。写真の撮り方次第で読者が「おもしろそう」「広報紙を見たいな」と感じるんだと思いました。



方城中2年 吉田 朱花 さん



↑ 吉田さんが、同級生の職場体験取材した際に撮影した写真。

あいさつが大事

中学生が校舎を離れ、職場の指導や支援を受けながら大人たちの中で学んだ職場体験。町内61の事業所で、働くことの意義や目的を学びながら、目を輝かせて働いた生徒たちの奮闘ぶりを、3ページにわたってお届けします。

学校では学べないことを経験

将来を考えた貴重な体験

想像以上にきつかった

【中学生職場体験レポート】

大人へのワンステップ

知らなかったことを身をもって体験

社会で働く大変さが分かった

規則を守る重要性を実感

田川農業協同組合 赤池出張所

8月27日～31日



農協にはガソリンスタンドや金融業務、商品販売など、さまざまな事業があり、私たちの生活に深くつながっていると実感しました。どこの町にもある農協が、どんな仕事をしているか知らなかったのが、今回、知ることができて良かったです。



赤池中2年 池尻 絢香 さん

↑ ガソリンやレジ、車の部分交換などの方法を教わりました。

Interview

赤池中2年 キャリア教育学年担当 大井 喜幸 先生

地域との連帯で生徒の将来に夢を

赤池中では文部科学省の指定を受け、5日間以上の職場体験「キャリア・スタート・ウィーク」を実施しています。生徒たちは慣れない環境で5日間働き、「きつい」や「大変だった」などの感想を話しますが、事業所からは生徒たちが3日目・4日目から変わったという反響も多く寄せられています。職場体験は将来の夢や希望を持つための絶好の機会です。そのための手助けとして、多忙にもかかわらず、生徒の受け入れをこころよく引き受けてくださった事業所の皆さんに、感謝いたします。



Interview

方城中2年 学年主任 中野 純孝 先生

近い未来の自分を想像して欲しい

生徒たちが仕事を体験する職場体験は、自分の将来を考え、そこから「今の自分」が「何をしないといけないか」を考えるきっかけとなることが期待されます。2年後や3年後に「自分がどうありたいのか」という近い未来を生徒たちが想像し、将来を見据えた努力を始めることは極めて重要です。生徒たちの反応は「あいさつの大切さが学べた」「社会の厳しさが分かった」など、さまざまですが、事業所の皆さんのご協力で、体験後は意欲的に学校生活を送る生徒が増えています。



平成筑豊鉄道株式会社

8月2日・3日

車両の清掃や点検作業などを体験。社会にはルールや規則があり、大人はそれを守って、仕事をしていることが分かり、社会で働くことのきつさや大変さを感じました。その様な社会で家族のために一生懸命働いている親に感謝したいと思います。



方城中2年 仲村 嘉起 くん



↑ お客さんのために「最善を尽くす」ことを学習する生徒たち。